

みずほCustomer Desk Report 2017/09/19 号 (As of 2017/09/15)

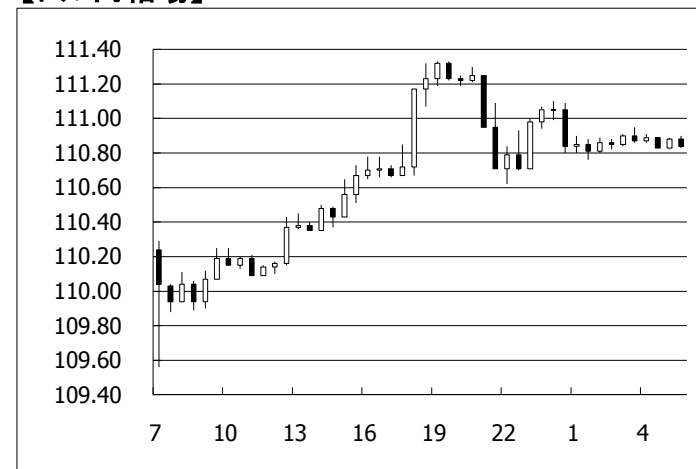
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.22 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.95	1.1922	131.06	0.9615	1.3396	0.8002
SYD-NY High	111.33	1.1988	133.07	0.9647	1.3616	0.8036
SYD-NY Low	109.55	1.1902	130.64	0.9565	1.3382	0.7987
NY 5:00 PM	110.83	1.1942	132.41	0.9596	1.3591	0.8003
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.915/9.315		Δ 25RR	0.830 Yen Call Over		

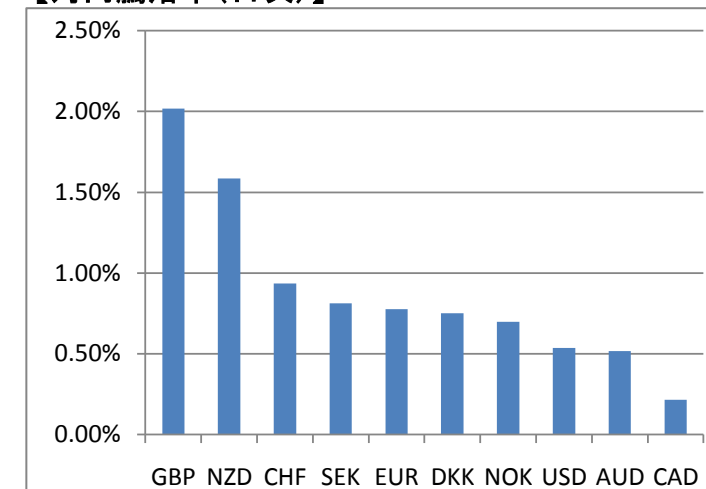
NY DOW	22,268.34	64.86	債券市場	日本2年債	-0.1340	▲0.9bp
NASDAQ	6,448.47	19.38		日本10年債	0.0290	▲2.1bp
S&P	2,500.23	4.61		米国2年債	1.3803	1.9bp
日経平均	19,909.50	102.06		米国5年債	1.8055	2.8bp
TOPIX	1,638.94	6.81		米国10年債	2.2023	1.8bp
シカゴ日経先物	19,880.00	115.00		独10年債	0.4330	2.0bp
ロンドンFT	7,215.47	▲79.92		英10年債	1.3090	7.9bp
DAX	12,518.81	▲21.64		豪10年債	2.7410	1.7bp
ハンセン指数	27,807.59	30.39	為替市況	USD/CNH	6.5479	0.0051
上海総合	3,353.62	▲17.81		ドルインデックス	91.87	▲0.25
USDJPY 3M Vo	9.41	▲0.04%	商品市況	CRB指数	184.052	0.74
USDJPY 6M Vo	9.52	0.05%		NY金	1,325.200	▲4.10
EURJPY 3M Vo	9.33	0.05%		WTI	49.890	0.00
EURJPY 6M Vo	9.72	0.09%		Dubai Spot	54.21	0.44

東京	オセアニア時間(東京時間7時頃)に北朝鮮が平壤近郊からミサイルを東に向けて発射、北海道上空を通過し襟裳岬の東2000キロに着水。110円台前半で推移していたドル円は一時109.55まで急落。しかし、前回(8月29日)同様の軌道であったこともありドル円はすぐに110円台まで反発。その後は110円ちょうどうを挟み合い推移となる中、東京時間のドル円は109.95レベルでオープン。ドル円が110円台前半での横這い推移が続く中、午後に入り前日比ややプラス圏での推移が続いた日経平均が上げ幅を拡大させると、ドル円も小幅に上昇。その後も底堅い推移が続く中で一時110.65まで上昇し、110.56レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ポンドドルは数ヶ月以内のBOE利上げ期待が一段と高まる中、昨年6月以来となる1.36台まで急騰。朝方は1.3415レベルでオープン。ロンドン時間序盤は、通勤ラッシュ中にロンドン東部の地下鉄駅で起きた爆発・火災で負傷者が出たとの報道があったものの(後にテロと判明)、市場への影響は限定的となり、ポンドドルは1.34台前半から半ばにかけてレンジ推移。ハ特派寄りとして認識されているブリハMPC委員が今後数ヶ月以内に利上げが必要になるかもしれないとの見解を示すと、BOEの利上げ期待が一段と上昇。英金利が急上昇すると同時にポンド相場も急騰し、ポンドドルは昨年6月のEU離脱国民投票開票日以来となる1.36台まで上昇。ロンドン高値1.3616まで上昇した後、1.36ちょうどう付近でもみ合いとなり、1.3567レベルでNYへ渡った。ドル円はポンド円の上昇を背景に110円半ばから111円台前半まで上昇。朝方は110.56レベルでオープン。序盤は110円台後半での揉み合う展開。ブリハMPC委員の発言を背景に英金利が上昇すると米金利も連られる格好から上昇し、日米金利差が拡大。ポンド円が急上昇する展開も相俟ってドル円はこの日の高値となる111.33まで上昇し、111.24レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、クロス円の上昇を受けて110円台前半から高値111.33まで上昇し、111.24レベルでNYオープン。朝方発表された米8月小売売上高速報(前月比)が予想を下回り、2ヶ月ぶりの前期比マイナスを記録したことや、米8月鉱工業生産(前月比)も今年1月以来のマイナスになったことが嫌気され、米金利の低下に共にドル売りが強まりドル円は110.62まで下落。しかし、ユーロ円、ポンド円などのクロス円が底堅く推移したことや、米9月シガン大学消費者マインドが予想を上回り米金利が反発したことなどを背景にドル買いが強まると、ドル円は111.09まで上昇。この水準ではドル売り意欲も強くすぐに110円台に戻したが、堅調な米株を背景にその後は110.90付近で底堅く推移。本邦3連休を控えていることもあり、引けにかけてはやや動意に欠ける展開となり、110.83レベルでクロスした。なお、ダウ工業株、S&P500種は共に終値ベースで過去最高値を更新し、S&P500種は初めて2500の大口に乗せた。一方ユーロドルは1.1949レベルでNYオープン。堅調なユーロ円にサポートされて底堅く推移する中、米8月小売売上高が冴えない結果となったことからドル売りが強まると、ユーロドルは高値1.1988まで上昇。しかし、新規材料に欠ける中で1.20台にのせる展開とはならず、その後は1.19台半ばでの方向感に欠ける推移となり、結局1.1942レベルでクロスした。

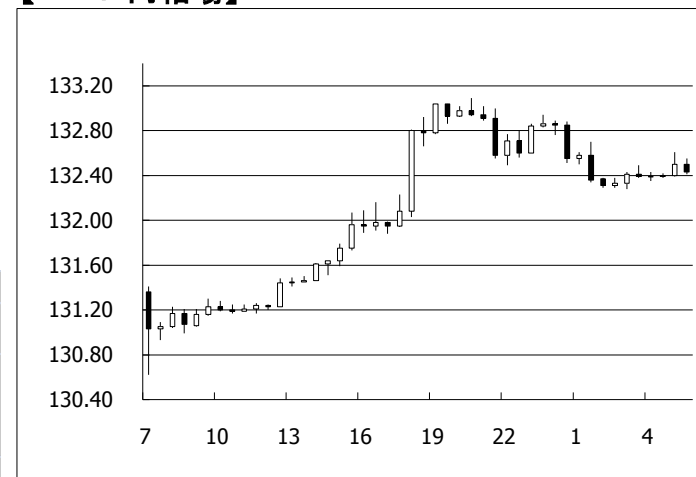
【ドル円相場】



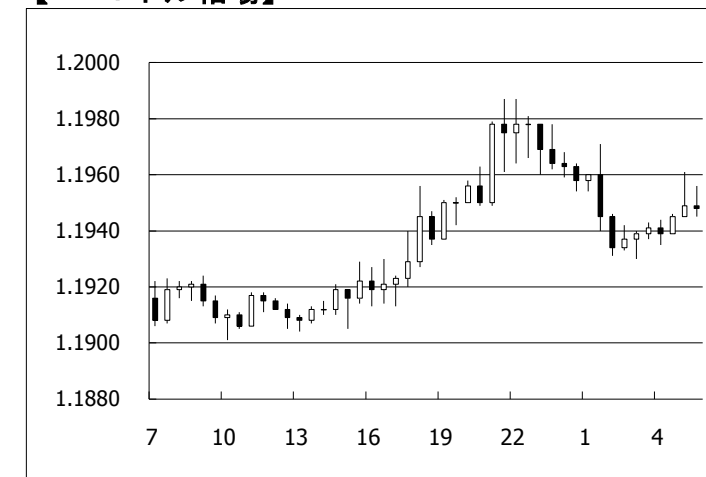
【対円騰落率(日次)】



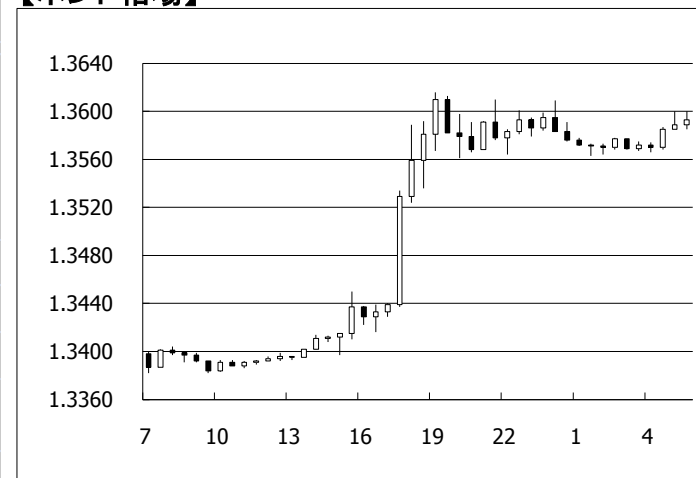
【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。